



総務部 DX 推進チーム

電話: 082-420-0944



デジタルネットワーク形成促進プロジェクトを始動

～ 地域の DX 推進とデジタル人材育成に向けた新たな挑戦がスタート ～

1 概要

本市には情報系学部を有する大学や半導体関連企業等があり、先進的な技術を持つ特徴的なデジタル人材がさまざまな分野で活躍している。

地域経済の活性化や地域課題の解決をより効果的に推進するには、こうした人材・企業との連携や知見の共有が不可欠であり、多様な人材・企業間のネットワーク形成に加え、地域に根差すデジタル人材の育成や環境整備が求められている。

こうしたことから、地域の実情に即した DX の推進を図るため、デジタルネットワーク (DNW) の仕組みづくりを新たに開始する。それにより、単なる情報共有の枠を超え、実践的な協働を通じて地域課題の解決や新たな価値の創出を可能にする基盤となるものであり、今後の地域づくりにおいて重要な役割を目指す。

【将来像】



※ローカルデジタルリビングラボ：地域住民、行政、企業、大学などが連携し、デジタル技術を活用して地域課題の解決や新しい価値創造を実証・共創する場

2 課題

- ・デジタル人材・企業の連携や知見の共有の機会が乏しく、地域におけるデジタル技術の浸透や対応が不十分であり、企業の生産性向上や地域課題の解決に資する取組みが限定的となる。
- ・デジタル分野に関心を有する若手人材が市内に留まる機会を得られず、人材育成や地域への定着に向けた環境整備が不十分である。

3 推進体制

本年度、市のDX推進体制を強化するため、新たに「DX推進担当部長」を設置するとともに、この度「デジタルリビングラボ準備室」を立ち上げた。

本業務は、デジタル社会推進官として新たに採用した福島悟史氏が担当する。

福島氏は、豊富な実務経験と専門的な知見を有しており、本プロジェクトのリーダーとして地域の多様な人材との連携を図るとともに、行政内外における調整役としての役割を担っていくものである。

- ・プロジェクト推進担当（リーダー）：東広島市デジタル社会推進官 福島 悟史
- ・総務部 DX 推進チーム（今年度から新設した DX 推進担当部長が直轄し体制強化）
- ・事業推進パートナー（受託者）：一般社団法人 Work Design Lab（代表者：石川 貴志）

参考 「デジタル社会推進官 福島悟史」の経歴



<経歴>

2025 年に関東から安芸津町へ移住。営業職として経験を積んだ後、IT 業界に転身し、取締役として経営全般に携わる。大手企業のシステム開発プロジェクトへの参画や新規事業開発、組織の効率化など、幅広い分野での業務を遂行してきた。